



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O KITAMURA BUSINESS CONSULTANTS OFFICE  
 503 Shinsaibashi Urbanlite  
 1-5-12 Nishi-Shinsaibashi Chuo-ku  
 OSAKA 542 JAPAN

FEBRUARY 1995, No. 8

The Service Club to the YMCA  
 Chartered September 25, 1982

MOTTO (1994~1995)

- IP "SERVICE WITH VISION" "ビジョンある奉仕"  
 AP "TOWARDS GROWTH AND BROTHERHOOD IN GLOBAL COMMUNITY" "深めよう 地域社会に兄弟愛を"  
 RD "INNOVATION WITH COURAGE, ACTION WITH HEART!" —AIM HIGH AT 6000—  
 "勇気ある変革, 愛ある行動!" —日本区6000への実りを求めて—  
 DG 『わかち合うY'S』  
 CP 『レットトライ (LET'S TRY)』 = 月間強調テーマ 『TOF・CS』 =

= 月間強調テーマ 『TOF・CS』 =

= 2月の聖句 =

そこで、王は答える。『はっきり言うておく。  
 わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。』  
 (マタイによる福音書 25章 40節)

=== 2月第1例会 ===

日時: 1995年2月15日(水) 6:30~8:30 p.m.  
 場所: 大阪グランドホテル

司会: 藤原正巳君

1. 開会点鐘 三浦直之会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読 津田葉清政君
4. ゲスト紹介 三浦直之会長
5. クラブ総会(次期役員選出) 一同
6. CS -我々にできること-  
CS事業委員 栗山佳三君
7. お誕生日祝い 一同
8. ニコニコ献金 ドライバー
9. 役員会・委員会報告, YMCAニュース
10. 閉会点鐘 三浦直之会長

= 2月お誕生の方 =

Happy Birthday to following people ...  
 藤井君 1日 笹江君 2日 足立君 3日  
 川越君 8日 福永君 16日 田中君 19日  
 矢部君 28日

= 2月第2例会 =

日時: 1995年2月22日(木) 6:30~8:30 p.m.  
 場所: 大阪グランドホテル

1月在籍者	1月出席者		1月出席率	BFポイント
33名 広義会員	メン	*第1階 0名	-% (マイキャップ計)	1月分切手 0 pt
0名	メネット	第2階 10名	前月出席率	" 現金 0 pt
合計	コメット	0名	修正	- %
33名	ビジター	0名		本年累計
	ゲスト	0名		切手 14,136 pt
	合計	0名		現金 3,300 pt
		0名		
		12名		

◎大阪センテニアルイブンスクラブ  
 役員

会長: 三浦直之  
 副会長: 掛江康一  
 " : 杉浦真喜子  
 書記: 秋月利英  
 " : 栗山佳三  
 会計: 津田葉清政

◎ニコニコ献金:

- 円

\* 1月第1例会は阪神大震災のため休会の已むなきに至りました。



## 2月の聖句に寄せて

この聖句の中の「王」とは、言うまでもなく神またはキリストを指しています。また「この最も小さい者」とは、社会の中で小さい存在、すなわち、病气や貧困に悩み、苦しむ人々など、いわゆる弱者を指しています。

2月はT O F (空腹の時) を考える月です。現代の世界には無数の弱者が存在しています。各地の難民キャンプには何百万という人が、家を追われ、寒さと空腹に震えています。海外を見なくても、過日の震災で家族を失い、家を失った気の毒な人々が近くにおられます。

この現状に対して、乏しきを分かちあい、助けあうのが、人間としての当然の行為だと思います。またそれは、いつも限りなく与えられている神の愛に報いる生き方でしょう。

(聖句撰・解説：黒田 巖之)

## 1月第2例会報告

(1/25 (水))

- 地震罹災対応の件：
  - メンバー消息：
    - ・新クラブ入会予定者の翁美智代さん逝去。
    - ・家屋倒壊ならびに怪我人なし。
  - 被災者支援：
    - ・義援金(ワイズ)：岡本日本区理事の依頼状を検討、当クラブとして ¥100,000 拠出する。
    - ・中西部長・メネット主査からの依頼事項：ボランティアとして、隅田、佐藤、谷川各メネット、福永メンがそれぞれ参加した。
- 2月第1例会：別掲のプログラム確認。  
栗山CS事業委員卓話のほかみんなでフリートークングをすることなど検討。
- 3月第1例会：卓話は1月第1例会に依頼していた仲田達男氏にお願いする。(1月休会)
- センテニアル次期役員：1/10 役員選考委員会の案を協議。2月第1例会にて本件選出する。
- 女性メンバー会(2/8)：都合により休会とする。
- 第2回西副区シンポジウム(3/12)：  
2月第1例会にて会長が説明、参加者を募る。
- 中西部・阪和部合同ワイズメン・連絡主事研修懇親会(2/26)：2月第1例会にて説明、参加者募集。
- 大阪河内ワイズメンズクラブ20周年記念例会(10/29)
- センテニアル1泊研修会(4/28, 29)：例年通り開催する。場所は六甲の予定。
- 尾形繁之先生記念会(1/29 (日))：  
当クラブより3名出席予定。
- その他：

## 訃報

新クラブに入会の手前で、準備例会にも熱心に出席しておられました「翁美智代さん」が、この度の大震災の犠牲になってお亡くなりになりました。

新しいワイズの仲間として共に活動するのを楽しみにしておりましたのに、哀悼に堪えません。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## 新クラブ 第4回準備例会の報告

新クラブの第4回準備例会を1月10日(火)グランドホテルで開催しました。

当夜は日本区EMC事業主任橋崎良治氏から、新クラブ設立までの手続きや、心得ておくべき種々の問題について懇切なご説明をいただき、励まされました。続いてクラブのネーミングについての検討に入りましたが、なかなかみんなの心に響くような名案が出ず、もう一度持ち越して次回には各自これぞという一案を考えて来た上で決定することになりました。

例会開催日についてはあらかじめアンケートで意見調整した結果として、今後は第2水曜日に開催することを確認しました。従って次回は2月8日(水)と決めました。

ワイズで2月はタイムオブファストになることに準じて、食事抜き例会を体験することを採択しました。

その後の自由懇談では「今後のメンバー確保について、個々人が友人を誘うにも限界がある。今日本で最初のワイズウイメンズクラブを作ろうとしているのだから、マスコミにも働きかけてオープンに人を集めることを考えてはどうか。」「クラブ運営の事業方針などを具体的に明確に打ち出して、アピールする必要がある。なんとなくボランティアしょうでは魅力にならない。」など、やる気まんまんの熱い発言がなされ心強い限りでした。

出席者(敬称略)

翁美智代：片岡千賀子：喜尚晃子：篠塚梅州：  
高橋治子：戸田重理子：藤沢眞智子：山地和家子  
横田みちえ：橋崎良治(姫路)  
今井利子(大阪長野)：福田宏子(宝塚)  
センテニアルメン8名

(文責：山田)

## ◎2月第1例会当番：〔第6班〕

黒田君、谷川君、津田葉君、藤原君、川越君  
会場の受付・準備・後片付けなどよろしく  
お願いします。



今回の阪神大震災の惨事のあと、香港ボヒニアクラブの SOPHIA FONG (方 淑 範) 会長より、日本語で「いねいなお見舞いの手紙がありました。またハワイ・ヌアヌクラブの MAE & LARRY HIRANAKA 夫妻よりもお見舞いの電話があり、大阪センテニアルの会員の安否を心配しておられました。

これに対して、一部の会員が被災されたこと、しかし、全員無事である旨伝えてあります。また両クラブ会長宛にその旨のファックスを発信しました。

なお、ヌアヌクラブからは、5月28~30日とハワイで BROTHER CLUB CONFERENCE を計画しているが、今回の地震の結果、参加してもらえらるかどうかとの問合せもありました。この件はいずれ検討、調査の上、返事をする旨を伝えてあります。

近着のハワイ区報によりますと、今回の地震による被災に対して、関西地区の Y M C A を支援するための特別資金が設立された、とのこと。ハワイのワイズメンに広く募金に応ずるようキャンペーンを展開中です。

— (両クラブ会長宛ファックスは別掲の通り) —



お年玉付年賀はがき・切手シート収集の

お原頁い

国際奉仕活動や地域社会奉仕活動の資金づくりの一環として、今年もお年玉付年賀はがきの切手シート収集にご協力をお願いします。

- ・今年の年賀切手シートは4等賞です。
- ・シートは80円と50円切手各1枚で、1シート当り130ポイント(円)です。
- ・各メンバーの目標は1,900ポイント(円)です。
- ・切手シートが集まらない場合は現金でも結構です。

◆2月15日(水)の第1例会に必ずご持参下さるか、もしくは、CS委員まで郵送願います。

なお、2月はリーストコイン(1円玉貯金)の回収月になっていますので、これも2月の第1例会にご持参願います。よろしく。

(栗山)

グループワークの主要な項目の中に、指導者養成があります。どのようなグループでもこの指導者(リーダー)に人を得るかどうかによって、そのグループの消長に大きい影響がありますが、私はそれよりも大切なのは、「列伍の指導者」がそのグループの中にいるかどうか、そのグループの発展に大いに関係すると思えます。

「列伍」とは辞書を引くと、「列を組んだそのならび。隊伍。」とあります。すなわち、列を組んで行進している時、皆んなより一歩抜け出て前を進んでいるのがリーダーですが、はっきりしたリーダーの立場にあるのではなく、隊列の中にあって行進している一般のメンバーが列伍あるいは列伍の人です。

我々のワイズのグループで言えば、会長ではなく一般の会員が列伍です。

私が申しあげたいのは、この一般会員の中にどれだけリーダーがいるかによって、そのクラブの活動が左右されます。大切なのは、この列伍のリーダーは会長がいるのに、いわゆる、しゃしゃり出て会長を無視するような態度でなく、会長の意向やクラブの目的や責任をよく理解して、黙って会員の務めをはたすことによって、クラブ活動に協力する人です。

会長(だけでなく夫々の役職にある人)が、あまりやかましく頼んだりしなくても、多くの人が、よく出席し、会費はきちんと納め、出るべき会合に積極的に参加し、その他クラブの取決めにどしどし協力してくれたら、どんなに楽でしょう。

YMCAでは、「誰でもリーダーシップがあり、指導者になれる」という伝統的な考え方がありますが、「指導者につくられるもの」なのです。YMCAではこの「列伍のリーダー」の働きによって、誰でも立派なリーダーに成長してゆくものなのです。

我がクラブの創立当初、元国際会長が、クラブの書記をつとめられたり、歴代の会長が黙々と黒子の役を果たしておられる姿に敬意を表します。

~~~~~【タイム・オブ・ファスト】~~~~~

Time of Fast (TOF) 断食の時

世界の飢饉に苦しむ人々を覚えるため、ある月のクラブ例会の食事を抜きにしてその分の金額を国際に集め、その年度に定めた支援目標に捧げる奉仕活動。いわゆる途上国で民生向上のため苦闘している Y M C A を目標に選ぶことが多い。

(“Handbook & Membership Roster”より)







(ミャンマーでの縫製指導の様子)

▽ Y M C A ニュース ▽  
真嶋 克成

③ ミャンマーY M C Aが進めている縫製技術指導にたいし、大阪Y M C Aでは長年支援活動をしています。大阪センテニアルワイズメンズクラブでは、足踏みミシン、電気アイロン、アイロン台3万円分を寄贈することになりました。

山地和家子さんと三宅玲子さんは昨年12月22日より1月4日までミャンマーで約30名の女性に縫製指導にあたりました。

④ 例年センテニアルワイズメネット会では、大阪Y M C Aの日本語学校が主催している留学生・就学生にたいしての「成人の祝い」を応援しています。今年は、1月13日(金)大阪南Y M C A、大阪国際専門学校、Y M C Aベクスルでそれぞれ開催されました。メネット会では2万円を寄付し、留学生・就学生の成人の日をお祝いしました。

⑤ センテニアルワイズメンズクラブが長年支援している留学生・就学生の奨学金としてクラブ員一人あたり1,000円、合計34,000円を大阪Y M C A国際奨学金に寄付しました。

大阪Y M C A国際奨学金は設立されて7年目を迎えますが、設立以来センテニアルワイズは物心両面で留学生・就学生にたいし支援をして参りました。

現在大阪Y M C A国際奨学金委員会にはクラブ員の山田孝彦氏と山村幸明氏が委員として奉仕されています。

《 お知らせ 》

中西部・阪和部合同 ワイズメンと連絡主事の研修・懇親会(1995年2月26日(日)開催予定)は、都合により中止になりました。

第10回 ワイズメンズクラブ  
中西部 ゴルフ・コンペ

開催日：1995年4月20日(木)  
場 所：茨木カンツリー倶楽部  
(茨木市大字中穂積 25)  
(☎：0726-25-1661)  
スタート時間：9:30 a.m. (東コース IN)  
(集合時間：8:45 a.m.) \*7組予定  
参加費：¥6,000(会費、賞品代など)当日徴収  
プレー費、昼食代等は各自負担  
申込：3月18日(土)までに下記宛：

高木志朗氏(土佐堀) (自宅) ☎ 0726-92-0032  
(勤務) ☎ 0726-95-3647  
FAX 0726-95-3699  
北村詔四氏(土佐堀) (自宅) ☎ 06-933-7873  
(勤務) ☎ 06-934-5560  
FAX 06-932-2770  
(エントリーは坂口YMCA理事長のお世話による)

◆◆◆ クラブ・ソング ◆◆◆

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing;  
We raise our hand, Our service pledge renewing,  
Ne'er to deny our motto's claim,  
Y's Men in fact as well as name,  
Always our objects to pursue,  
We consecrate ourselves anew.

うたえば ころろひとつに  
ともがき ひろがりゆきて  
とおきも ちかきもみな  
ささげて 立つやワイズメン  
さかえと はまれゆたか  
まことは 胸にあふれん



★ 川越利信君のご活躍

—阪神大震災での視覚障害者支援—

今回の被災者救援ボランティア活動から多くの教訓を学びましたが、その中であって、我々の川越利信君のすばらしい活躍ぶりが、去る1月29日付朝日新聞の「天声人語」に次のように紹介されました。(畝)

天声人語

川越利信さんは、阪神大震災が起きた直後、これは大変だと思っただ。視覚障害のある人々への支援が必要だ。何かしなくては……▼川越さんは守口市に住んでいる。盲人のための総合福祉施設「日本ライトハウス」の「盲人情報文化センター」館長だ。急いで仲間やボランティアに呼びかけ、「視覚障害被

災者支援対策本部」をつくり、大阪市内の日本福祉放送に本拠を置いた▼眠れぬ日々が始まった。早朝から手分けしてバイクで被災地に行く。仕事の第一は視覚障害者の消息確認である。どの避難所にだれがいるか、何に困っているか、だれに何を伝えたいか……。それらを聞き取る▼目の不自由な人にとり、ふだんの生活圏と様子が全く違う環境での生活は大変だ。行動

の難しさを察して助けてくれる人も多いが、周囲の人にいつも親身に話を聞いてもらえらることも限らない。将来への不安も募る▼バイクの聞き取りに応じて、引き取りが必要な場合は車両隊が出動する。もう一つ、大事なのは医療班の仕事である。ボランティアの眼科医たちが各地に飛び、診察や相談に応じ、病院への連絡などにあたる。製薬会社も協力してくれた▼活動が

知られ始めると、盲人からの個別の電話相談や、ボランティアの申し込みが増えた。全国からのボランティアの登録は約五百人に達した。毎日百人ほどが働いている。被災者を近畿各府県の宿泊施設に移す時に手を引くボランティアもいる。高校生も多い。最年長は七十歳の男の人、最年少は小学六年生の川越さんの娘、遊風子ちゃんだ▼パソコン通信が威力を發揮したとい

う。通信で、すばらしいボランティアが大勢集まったし、被災や援護の状況が常時つかめる。金集めの心配もあるが、当面は人手、できれば一週間以上働ける人がほしい、と川越さんは言う。本部の電話は、〇六一四四一―四七三八、九。

～～ 阪神大震災支援活動に参加して ～～

メネット会 隅田恵子

1月17日未明の大地震でワイズメン、YMCAでも多くの方が被害に遭われました。私は、次々に報道される現状にただ驚きと恐怖でおろおろしておりました。そんな時いち早く阪神甲子園駅のすぐそばに基地を作り支援活動を始めたという緊急連絡と要請が中西部からはいりました。

24日、佐藤メネットと共に紙コップ、お茶、キャンディなどを持って藤原メン(西クラブ)のお宅に作られた活動基地に行きました。武庫川を越えたあたりから屋根瓦の崩れた家が多く、甲子園に着いても道路わきに亀裂が何本も走っており、その横を歩きながら地震災害を実感しました。

基地ではYMCAの人々や各クラブのメン、メネットが活発に奉仕されており、十数台用意された貸し自転車は被災地に救援物資を運ぶ方々にとっても喜ばれていました。又要望されている品(カセットコンロ用ボンベ、乾電池、水、下着、靴下、歯ブラシ、カップラーメン、その他色々)を並べ、必要としておられる方に持って行っていただき、お役に立てていただきました。そしてメネットは被災者の方に湯茶のサービスをしました。基地は神戸方面への通り道になっており、前を行かれる買いだしの行き帰りの方、被災地を訪問された方、復興作業に携わっておられる方々などに熱いコーヒやお茶をさし上げました。皆さん体を暖めほっと一息ついていかれました。大変喜んでくださり、後で基地にお菓子を寄付して下さいましたご婦人、長い間話し込んで行かれたご老人など、皆様どうぞお疲れが出ませんように、元気で頑張っていたいだきたいと思いました。

西クラブの行動力とリーダーシップ、活動に僅かでもお手伝い出来たことに感謝致します。谷川メネットも他の日に参加下さいました。メネット会では、完全復興まで息の長い支援を続けたいと話合っております。

〔編集後記〕 まず、今回の被災された方々にお見舞いを申し上げ、あらゆる復興の一日も早からんことを切にお祈り致します。

特に、翁美智代さんの不慮のご逝去は、天災とは申せ痛惜哀悼に堪えず、謹んでお悔やみ申し上げます。

辛い、われわれのメンバーには、多かれ少なかれ災害を受け、日常生活に思わぬ支障を来された方もあるものの、大した怪我もなかったことは、不幸中の幸いです。只、1月の第1例会が休会の已むなきに至ったことは、なんとも残念至極ですが、この不幸中の幸いを生かして、今後さらにお互い前進したいものです。

災害のたびごとに、寺田寅彦の著作集を見ながら、貴重な教訓に思いを馳せること頻りです。

私のワープロが奇跡的に助かっているのに、このルーティンが遅れたことをお詫び致します。(Y.F.)